

地域計画策定を契機とする中山間地域における取り組み ～関係人口づくりの新たな切り口～



南部町産業課（鳥取県）

亀尾 憲司



- ★面積 114.03km²
- ★人口 10,099人
- ★高齢化率 39.12% (R6.12月末時点)
- ★平成16年10月に旧西伯町と旧会見町が合併し南部町が誕生

南部町は鳥取県の西に位置し、豪雪地帯。年に数回はかなりの積雪があります。

南部町農業委員会 及び 農業の状況

○ 経営耕地規模別農家数

区分	2020年
0.3ha未満	15
0.3～0.5ha	155
～1.0ha	275
～2.0ha	116
～3.0ha	22
3.0ha以上	38 (5.0ha以上20)

○ 農業産出額(推計、単位千万円)

区分	2021年
米	54
果実	27
野菜	20
肉用牛	12
乳用牛	11

○ 耕地面積1,130ha(町面積の約10%)



←樹園地
梨、柿の栽培が盛ん。

粗放的利用 導入の経緯



相談者

耕作者が亡くなり、
誰かに作ってもらいたい、
売りたい（山際、谷筋＊水利はため池）

粗放的利用 導入の経緯



相談者

耕作者が亡くなり、
誰かに作ってもらいたい、
売りたい（山際、谷筋＊水利はため池）



近所等に相談されて事務局まで連絡



農業委員を通じて相談するも、担い手、買い手なし



解決しないまま、相談は積み重なっていく…

焦燥感💧



外部人材、外部企業、起業する者の発掘



条件の良い
「ほ場」へ



(対象集落)
町の南部に位置。世帯数19戸。
14歳以下の年少人口6.8% / 75歳以上人口31.8%



■ 10年後も **自作** (機械は自己所有)

■ 10年後 担い手 **存在** (現在、担い手に貸出、又は作業委託中)

■ 10年後 担い手 **不在** (農業継続不可)

課題の共有

赤農地の管理をどうする？

取組の中で生じた課題と 解決に向けた考え方

仲間をつくり、地域の枠を超えていく

仲間をつくり、地域の枠を超えていく

まずは、仲間づくり

遊休化する農地
同様な状況にある地域との
連携が必要か



管理労力がかからないような
「粗放的管理」の検討

そして、販路を意識

自治体内の
地域づくり部門との連携



都市部企業との
“つながり”模索

粗放的利用導入の効果や将来展望

INPUT

(料理なら…素材集め、調査)

- ・ 中山間エリアでの担い不足
- ・ 経済性の観点
主要作物以外の販路探し
- ・ 集落運営との関連性
- ・ 都市との地方のあり方への
“思い”
- ・ 集落機能の維持

CONCEPT

(料理なら…どんな料理にするか?)

- ・ 仲間づくり
(同じ課題を共有できる仲間)
⇒声を上げていく
⇒地域課題を全国課題へ

OUTPUT

(料理なら…仕上げの形と演出)

- ・ 関係企業との販路確保
- ・ 規格外品の利用
- ・ 都市と地方のあり方の再考



粗放的管理 模索①

都市部企業との町内での
意見交換（外食産業含む）
※令和5年11月実施
2泊3日のツアー 4社参加

地域課題解決型コラボレーション
ローゼルプロジェクト



鳥取県
南部町
NANTO TOWN
見てごしない、桜と蜆の舞う町





>>> 仲間になり、コラボレーションへ

鳥取県南部町 × chano-ma

地域課題解決型コラボレーション ローゼルプロジェクト



プロジェクトの概要

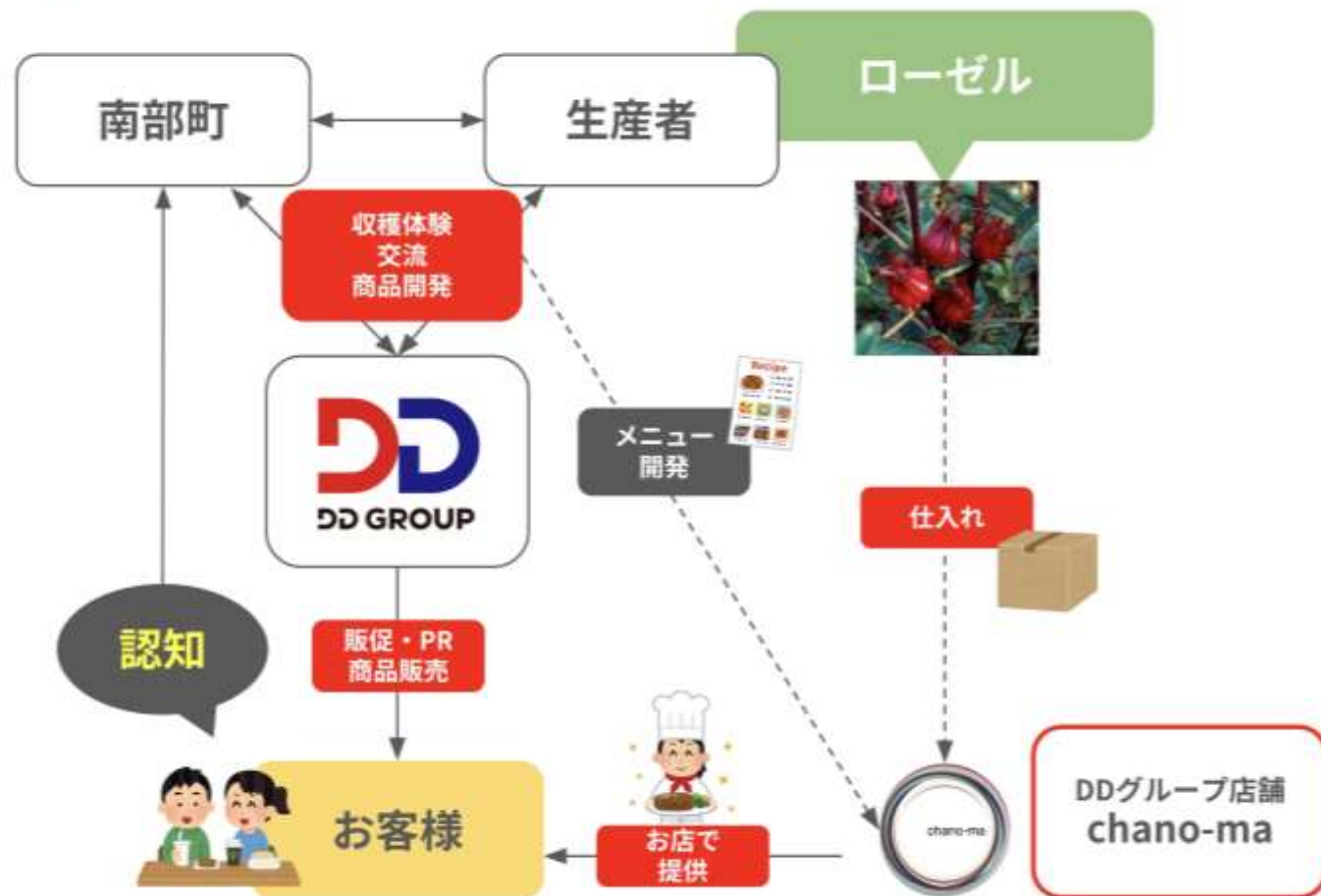
ゴール	農作業に負担の少ない栽培作物（ローゼル）を普及させることで、南部町における農地の維持管理につなげる
背景/課題	収穫したローゼルの販路が未確立である為、生産者の栽培メリットが少ない
DDGが出来ること	●ローゼルを用いた加工品の開発 ●ローゼルを用いた飲食メニューの開発 ●開発した商品のブランディング・販売
プロジェクトの内容	●商品開発チームと店舗社員にて現地訪問・生産者と交流し農業課題を理解する ●chano-maで提供するローゼルを用いた飲食メニューを開発 ●ローゼルメニューの販売を通して南部町の農業課題や魅力を発信する ●啓蒙に必要なクリエイティブの制作

プロジェクトの概要

● 進行プラン



● プロジェクトスキーム



R5年の委員改選に伴い、

新たな農地利用最適化推進委員の発案で、

粗放的利用の作物として、ローゼル栽培が始まる。

R6年は、委員が中心となり

町内各地に約140本のローゼルを試験栽培





ローゼルの種（ポット植え）
(令和6年5月)



手作り栽培講習会
(令和6年6月)





中山間エリアでの生育状況
令和6年8月頃





栽培の状況
令和 6 年10月頃



(鳥取県南部町 X chano-ma)

”地域課題解決型コラボレーション”

収穫体験&試作品の試食会







*Roselle's flower
Temari Sushi*

01

ギザギザ&シャリシャリ

ローゼルの
花手鞠寿司



*Roselle's Flower
Crystal Yokan*

02

ほんのり
ローズシロップ香る

ローゼルの
花水晶
ようかん



*Roselle's flower
Glass Shortcake*

03

いちごのように甘酸っぱい

ローゼルの
フラワーグラス
ショート









私たちが南部町で出会い、見て、感じたものが、
大切なお客様へ届けられるようにがんばります



メディア向け発表会

発表会概要

※実施日時 2025年2月5日9：30～10：30

※場所 chano-ma茶屋町

※参加者

- ・鳥取県南部町町長、農業委員会会長、南部町関係者計15名
- ・鳥取県西部総合事務所長、農林局長、関西本部課長
- ・鳥取県関係者3名
- ・メディア6社7名

計30名

※リリース本文

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000001573.000007303.html>

※メディアリスト

- ・大阪キタジャーナル
- ・梅田経済新聞
- ・商業施設新聞
- ・みよか（関西テレビ）
- ・日本食糧新聞
- ・Yahoo!ニュース

※広告換算※2月7日時点

・ 2, 4 3 0, 3 0 0円

【再生神話の町のおまじないハーブ「ローゼル」】鳥取県南部町
xchano-ma 茶屋町 期間限定メニューを2/12（水）より提供開始！

地域課題解決型コラボレーション「Re：Roselle（リ：ローゼル）プロジェクト」

DDグループ 2025年2月6日 10時30分



株式会社DDグループの連結子会社である株式会社ダイヤモンドダイニング（本社：東京都港区、代表取締役社長：松村 厚久、以下「ダイヤモンドダイニング」）は、「地域課題解決型コラボレーション」として、耕作放棄地問題を抱える鳥取県南部町で栽培されたローゼルを広める「Re：Roselle（リ：ローゼル）プロジェクト」を推進しております。

この度、初の商品化メニューを2024年2月12日（水）より、「chano-ma 茶屋町」にて期間限定でご提供いたします。









ご清聴ありがとうございました。

職場から見える（伯耆富士＝大山＝だいせん）

職場の建物から一步出ると、

自然の豊かさを実感するとともに、

農地の行く末を心配する気持ちが流れ込んできます。

南部町産業課

TEL：0859-64-3783

mail：kameo.k@town.tottori-nanbu.lg.jp]

